



「政宗公を語ろう！」 鋭く優しく人心照らす 三日月の輝き 今も

トークセッション 第2部

伊達政宗公騎馬像の帰還を記念するトークイベントが4月15日、仙台市青葉区の仙台国際センターで開催された。伊達武将隊の演武で幕を開けたイベントは2部構成で行われ、第2部「政宗公を語ろう！」では伊達家18代当主伊達泰宗さん、俳優の村井美樹さん、タレントの松村邦洋さん、伊達政宗研究家の佐藤憲一さんの4人が政宗公への思いを語り合った。



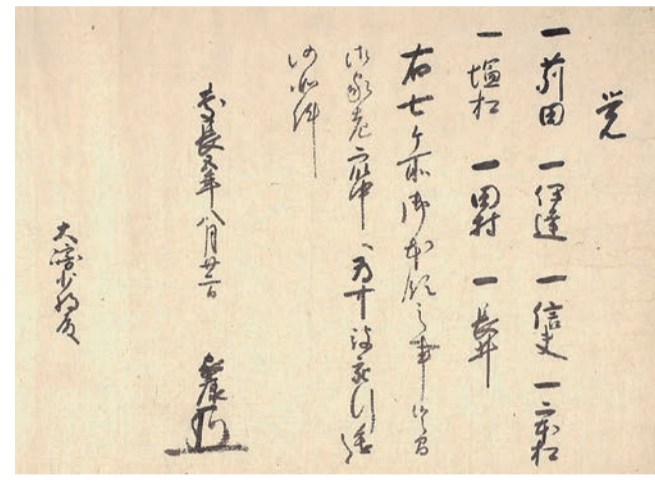
伊達家18代当主 伊達 泰宗さん
Profile... 山形県出身。大学生の頃、バイト先のテレビ局で片岡健太郎氏に認められ芸能界デビュー。多彩な才能で人気を博す。歴史や野球の知識も豊富。

「ダーのイメージもあり、黒の甲冑に金の前立てもスタイリッシュですよね。」
佐藤：前半生は戦国大名、後半生は近世大名として戦国と太平、二つの時代を生きた人でした。困難に遭っても前に進むことができたからではないかと考えます。

一番カッコいい戦国武将 戦国と太平の世 二つの時代を生きた

名久井：伊達政宗公の印象を聞かせてください。

松村：戦国武将の中で一番カッコいいと思います。NHK大河ドラマ「独眼竜政宗」を見たときは電流が走りました。平均視聴率は歴代トップの39.7%。豊田秀吉も徳川家康も織田信長も視聴率では勝てなかった。戦国時代も視聴率で勝てないんだって思いました(会場笑)。
村井：主演の渡辺謙さんの画面からあふれんばかりのキラキラした殺気。子ども心にもヒリヒリと印象に残っています。



徳川家康贈賀状書(百万石のお墨付) 仙台市博物館蔵

敵に回すと手強い 秀吉、家康が警戒

きたのは、生涯「天下への夢」を持ち続けたからではないかと考えます。

佐藤：二人は政宗を若いけど教養があり、駆け引きにたけた油断のできない人物と見ていたのではないかと、味方に付けは頼りになるが敵に回すと手強い。二人にとって政権維持には必要ない人物でした。
村井：秀吉に「政宗は秀吉に勝つ甲冑を生産大切にしたい」と思っていました。



黒漆五枚胸長足(伊達政宗所用) 仙台市博物館蔵

佐藤：二人は政宗を若いけど教養があり、駆け引きにたけた油断のできない人物と見ていたのではないかと、味方に付けは頼りになるが敵に回すと手強い。二人にとって政権維持には必要ない人物でした。



モデレーター フリーアナウンサー 名久井 麻里さん

令により騎馬像も供出されましたが、45年に胸から上が発見され、父が名譽船長を務めた仙台市博物館の玄関に設置されました。幼い頃、東京から仙台に帰る度に父と胸像の前立ち、「ただ今、国許に帰還致しました」と報告したことを覚えています。
名久井：政宗公はなぜ仙台に居城を構えたのでしょうか。
佐藤：百万石の領土の中央に位置し、古代から政治、宗教、交通の中心地であったこと。北上川と阿武隈川を運河で結べば、将来の発展が期待できること、などが理由と考えられます。
名久井：村井さんは、「ご当主にお聞きしたいことがあるんですけど」
村井：政宗公の美的センスはとてつとて培われたのでしょうか。
佐藤：伊達家の歴史をさかのぼると藤原鎌足に始まります。貴族、大名として長く培われてきた教養や文化、歴史が根底にあり、一方で新しい時代への対応や合理性から生まれた機械美が融合し、政宗公の美的感覚が形成されたように思っています。ただ、センスというものは磨くかと思っても磨き切れない人もいます。政宗公の場合は生まれながらのものかもしれないですね。



国宝「慶長遣欧使節関係資料」支倉常長像 仙台市博物館蔵

慶長遣欧使節 背景に大坂の陣

名久井：政宗公はなぜ支倉常長ら慶長遣欧使節を派遣したのでしょうか。

佐藤：この使節は政宗と家康の共同事業でした。政宗は家康の許可を得て使節を派遣しています。当時最強とい



伊達 村井 美樹さん
Profile... 京都府出身。ミス早稲田グランプリ受賞。NHKドラマで女優デビュー。クイズ番組や歴史番組などで高学歴知性派タレントとしても活躍中。

目的は達成できませんでした。外交から新田開発の推進など国内中心の国づくりに切り替える契機となったと思えます。
村井：政宗公はもっと野心を持っていてと思っていました。慶長遣欧使節に大坂の陣が絡んでいたんですね。
松村：スペインの軍隊の力を借りれば政宗公は豊臣や徳川に勝てたと思えますがね。
名久井：使節関連資料のエピソードがあるんですね。
伊達：徳川幕府の禁教、鎖国によって使節関連資料は隠されてきました。

美的センス備え文武両道

村井

吉個人には親しみを持っていたようです。
関ヶ原合戦の際、家康は政宗が味方であることを「百万石のお墨付」に「伊達氏の旧領回復を約束する覚書」を出しましたが、約束は履行されませんでした。百万石に

持ち続けた「天下への夢」

佐藤

なることへの警戒心があったと思います。家康は約束をほごにするとは言わず「そのうち」と延期はしていません。
佐藤：前半生は戦国大名、後半生は近世大名として戦国と太平、二つの時代を生きた人でした。
松村：政宗公は秀吉、家康からこんな息子がいたらと温かい愛情を注いだのを寄せられていたと思う。大河ドラマ「英徳川三代」では津川雅彦さん演じる家康が(※モノマネで)「西園の大名が攻めてきたら、政宗、お前だけ頼りだぞ」と言っています(会場笑)。家康が唯一「顔色をうかがって」いた名が政宗だったと思いますね。

さながら参勤交代 初代騎馬像 仙台へ

名久井：ご当主は初代騎馬像の貴重な写真をお持ちくださいました。

伊達：伊達政宗造所(東京都荒川区)で撮影されたもので、私の祖父である伊達家16代当主興宗と、原型を制作した彫刻家の小室達彦氏が写っています。騎馬像は1935(昭和10)年1月に完成しました。約5人、高さ4尺の騎馬像は綱で包まれて東京を出発、仙台に向かう道には多くの人が押し寄せ、さながら参勤交代のようだったといえます。仙台城の急役では500人の若者が騎馬像を引っ張り上げたということです。



完成当時の初代政宗公騎馬像。台の上、左が伊達家16代当主の伊達興宗氏。中央に座っているのが騎馬像の作者、小室達彦氏

今も続く新発見 長女に辞世の和歌

名久井：政宗公を巡っては、今なお新しい発見が続いています。

佐藤：政宗が最後に口にしたときに、長女の五郎八姫に残したという辞世の和歌が発見されました。「くらき夜に真如の月をささだてこの世の闇を晴してぞ行」というもので、「まだ自分の仕事は終わっていない」という強い意志が感じられ、いかにも政宗らしいと感じました。
名久井：今でも年に10通ほどの新しい手紙が発見されると聞いています。400年たったでも新発見があるのはすごいことです



伊達家18代当主 伊達 泰宗さん
Profile... 伊達家18代当主。伊達家伯記念協会会長。(公財)瑞鳳殿顧問興利館名誉館長。(一社)伊達家風文会総裁、(公財)東北放送文化事業団理事。

私は構わず騎馬像に向かって走り、台座に抱きつきました。当家には小室達彦の署名が刻まれた騎馬像のひな型があります。「死後後眼を備えよ」という政宗公の遺言に反して、左目は鋭く、右目とは異なった形となっています。「健全な左目は現在を見極め、遠くを見つめるような遠く、いまさし右目は、未来を見据えるための「小室さんはその思いを込めたのではないかと感じます。私にとって騎馬像は心の指針です。政宗公の如くどのような困難にも打ち勝ち、新しい未来を切り開いてゆく心の支えです。騎馬像は未来を描く大切な存在として、これからは多くの人を見守ってくださることを願っています。

左目で現在 右は未来を 小室氏の思い感じる

名久井：最後に騎馬像への思いをお聞かせください。

伊達：12年前の3月11日、広瀬川を挟んだ青葉山の対岸で大震災を経験しました。石垣が崩壊する中で騎馬像は耐え抜きました。翌朝、崩れた石垣を乗り越えて仙台城跡に着くと、騎馬像の前にはテープが張られ立ち入り禁止となっていました。



トークイベントの前に、政宗公騎馬像を見学した松村さん(右)と伊達家18代当主の伊達泰宗さんと共に

トークイベントのダイジェスト動画を配信中
特設WEBサイトの松村邦洋さんのモノマネも必見!
仙台市博物館は改修工事のため休館中。2024年4月再開予定

伊達政宗公騎馬像のご帰還をお祝い申し上げます
協賛: 角田市、三井不動産 MITSUI FUDOSAN、宮城県建設業協会、SUNTORY、清水建設、日本製紙株式会社、阿部かき、M&A CAPITAL PARTNERS、かに政宗、気仙沼工務店、丸澤、仙台南物 こだま。どら焼、SAKATA INX、佐々重、JTB、小学館 SHOGAKUKAN、住友商事東北株式会社、仙台バス株式会社、仙臺平、伊達の牛たん春巻、伊達武将隊、DIC グラフィックス株式会社、東北学院大学、玉由達総本舗 東北工芸製作所、日本政策金融公庫 仙台支店、郵便局、BS 松竹東急、Khh 東日本放送、平松剛法律事務所、FUJISAKI、pokka Sapporo、佐勤、Vortex、味佳嗟、伊達政宗歴史館、明治安田生命、ヤマカノ醸造株式会社